



まくらが

発行
2009年度
(社)古河青年会議所
渉外広報委員会



一年間の始まりに身を引き締めて
話す沼田理事長



OBの先輩方も大勢が来られました、30周年の年に向けてご協力お願いいたします。

来訪JCの皆様です、大勢のメンバーで古河JCの総会に参加いただきました。ありがとうございました。

社団法人古河青年会議所第一回通常総会

本年、三〇周年を迎える古河JCの第一回通常総会が開催されました、多くの来訪友好JCメンバーの皆様と先輩方に見守られながら無事総会の議案も可決され、沼田理事長を始めとするメンバー全員が一年間JC活動に邁進していきます。



去る1月24、25日
京都会議が行われました。
本年度は、日本JCへ秋山副理事長と新井君が出向されております。

京都会議にご参加いただいた18名のメンバーにおかれましては大変有難うございました。こころよりお礼申し上げます。楽しい京都の旅が過ごせたのではないのでしょうか。
その後、沼田理事長がインフルエンザになってしまいました。A型だそうです
まだまだ、寒い時期がありますので、体調管理に気をつけて活動していきましょう。



多くのメンバーと共に、京都会議会場である、京都国際会議場にて。



茨城ブロックへ出向しております、高橋委員長かなり会議やセミナーへ出ておりました。高橋委員長お疲れ様でした。





「たかがJ C、されどJ C」勇気を持って本気の行動！
2月例会の案内

担当 2009年度 研修委員会

趣旨

会員の拡大はLOMにとって重要な課題であり、当委員会が率先して行動する事は当然のことですが、本気で会員の拡大を行うのであればLOMメンバー全員が拡大を行うという意識を持って行動する事が必要不可欠です。

そこで、メンバー全員が一致団結し会員の拡大に取り組んで頂ける様、今例会を企画しました。

記

1. 内容 講師例会 講師：阿部直樹君
(2009年度(社)常総青年会議所 直前理事長)
(2009年度(社)日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 副会長)
アシスタント：渡辺秀一君
2009年度(社)常総青年会議所 副理事長
2. テーマ 『団 結 』
3. 日 時 2009年2月23日(月曜日) 19時30分～21時30分
4. 場 所 古河市総和商工会館 3階例会場
5. タイムスケジュール

19:00～19:30 受付
19:30～19:50 開会セレモニー
19:50～19:55 趣旨説明、講師紹介
19:55～20:45 講演
20:45～20:50 質疑応答
20:50～21:05 まとめ
21:05～21:10 謝辞
21:10～21:30 閉会セレモニー

社 団 法 人 古 河 青 年 会 議 所
理 事 長 沼 田 剛

〒306-0204 茨城県古河市下大野2209-9 (古河市総和商工会館)
TEL:0280-92-4500 FAX:0280-92-4502

スモークド・ローストビーフ

材料

牛肉のももブロック 500グラム
 塩 コショウ オリーブオイル
 燻製チップ
 ワサビ しょう油 (ポン酢もおいしい)
 好みでマスタードも可

1 ダッチオーブンの底にアルミホイルを敷き燻製のチップを片手一杯分くらい入れます (お薦めはサクラのチップ・・・ホームセンターなどで売ってます)

2 肉に塩コショウをしてオリーブオイルを塗ります。

3 ダッチオーブんに肉を入れて上下から焼くのですが屋外ならふたの上に炭を置いて焼きますが

室内で炭を使うと面倒なので上ふたをあらかじめ焼いて余熱で熟したいと思います。

金属製のなべ敷きでかさ上げします (足にゴムがついていたら取らないと溶けてしまいます)

4 火力はかなり弱火で結構です。じっくり15分～20分待ちましょう

5 肉の中心に金串をさして5秒数えてから引き抜いて唇に当てて金串が温かければ出来あがり

冷たかったらもう少し熱しましょう・・・やりすぎると台無しです

6 すぐに切ってしまうと肉汁が出てしまいます。15分くらい常温で冷やしている間に肉にジンワリ熱がとおります

7 スライスしてワサビ醤油で召し上がれ

詳しくは担当新井までよろしくお願ひします。



お料理コーナー

新井淳也のお好みお料理コーナー
 今回も、ダッチなオーブンを使っています。

タイトルを読むとなんだか難しそうな料理に思われがちですがダッチオーブンがあれば本当に簡単にローストビーフは出来上がります。

外国産の牛肉だったら500gで700円位?

蒼き侍達の夢～第参章～②

2月11日、まともや『いい試合』で終わってしまった。

勝ちきれない…。前線からのプレスも利いていた、攻撃の形も出来ていた、相手のストライカーも完璧に抑えた。今回の相手、オーストラリアの前評判は高く、相当強い印象であったがシュート数は3～4本位、危ない場面は皆無であった。それだけ日本の守備は良かったのだろう。内容的には上出来だった。まともや、まともやホームでの引き分け…。肝心の点が取れない…。相変わらずFW陣のレベルの低さが目立つ試合になってしまった。決定的な場面で消極的で意味のないパスやスルーが目立ちすぎる。なぜシュートが出来ないのか?シュートを打たなければ点は入らないことを理解していないのか?いい加減勘弁して欲しい。観ていて疲れる…。いくら中盤で華麗なパス廻しをしてもシュートを打たなければ相手はちっとも怖くない。これでグループ1位通過は限りなく赤に近い黄信号が灯った。残り4試合、次は3月28日ホームでのバーレーン戦。今度こそ胸のツカエがスウ〜ッと取れるような試合をしなければ監督の更迭問題にもなりかねない事態となってしまった。課題はただ一つ…2002年の日韓W杯の時、イングランドの名将でJリーグ名古屋の監督を務めたこともあるアーセンベンゲル氏が「世界に通用するストライカーを育てること…それが日本サッカー界の急務だ!!」と言っていた。あれからもう6年も経っているが未だその課題は克服されないままである。

日本サッカー協会は2010年南アフリカW杯でベスト4を目標にしているそうだが、甚だおかしい話だ。このままではたとえ出場できたとしても前回同様1勝も出来ずに敗退は目に見えている。かつての日本サッカーには確かに存在していた、メキシコオリンピック得点王釜本やKING KAZUこと三浦知良のような絶対的なストライカーはいつ現れるのだろうか?急募!!自分本位の男、ボールを持ったらシュートしか考えない日向小次郎!!である。

09年度、最初の例会ということで1月8日に恒例になっております、座禅を行い、研修委員会の座禅についての説明などを受けました。

一月例会開催

1月8日、(社)古河青年会議所1月例会として恒例の田中住職の講話と座禅を“思考”というテーマで行いました。当日は入会見込み者の方々をはじめ多くの先輩方に参加いただき会場のお寺のざぶとんを使い果たすくらいいっぱいとなりました。

私個人、毎年この寶輪寺で座禅しておりますが、いつも何の意味があって座禅をして般若心経を唱えるのかが理解しがたくて時間がたつのが本当に長く感じるものがありました。

そこで、今回は委員会内でそれっていったいどういう意味があるのだろうか?という視点から各種書籍やインターネットを通じてその意味を調べました。そうすると、日本にそういった思想や風習が持ち込まれた経緯や歴史上の出来事が多すぎてきりが無いほど調べなくてはならない要素が出てきました。

調べたら面白くなってきてしまい、お寺と神社の違いとか日本独自の風習や行事など余計なことまで調べて資料にまとめあげ、とやっていくうちに理事会で答弁した趣旨の路線からどんどん内容が一人歩きし出していきました。

委員会内ではそれをいかに趣旨、テーマに沿ったもの



一年の始めの例会、真剣に話を聞く多くのメンバー、そして昨年ご卒業された先輩方です。



座禅とは、どういう歴史を持っているのか、研修委員会のメンバーで発表。

事情により卒業式に参加できませんでした、小野先輩も一月例会において、卒業証書を授与され、おめでとうございます。



秋山副理事長の謝辞。



にするかにそぎ落としていく作業をしていくと、当初調べた半分以上がボツとなりました。

そんなこんなで迎えた当日。田中住職からは「健康で生きていること自体すでに有難いことである。当たり前であること、当たり前前の生活を送れることに感謝できなくては正しい考えは生まれません。」と静かにハッとさせるお話をいただきました。今年30周年を迎える古河JCのメンバーにとって逸る気持ちを今一度見直してみてもいかがかな?ということかなと個人的に思いました。そしていつもと違う気持ちで座禅とお経を読み上げることができ、今年があつという間に感じました。

今回は例会前から懇親会まで“禅とは?”“お経とは?”というマニアックな話が住職とできるようになり個人的にはものすごく身になる勉強をさせていただきました。ボツになった資料は研修委員会のブログに掲載してあります。

最後になりましたが、参加していただきました皆さん、そして委員会メンバーのみなさん本当にありがとうございました。そして、田中住職、瀬戸住職ありがとうございました

研修委員会 委員長 小倉清暢

研修委員会のメンバーの皆様、本当にお疲れ様でした。